



愛知医科大学病院

パーキンソン病に対するデバイス治療 オンライン説明会のお知らせ(2023年8、9月)

薬が切れると動けない・歩けない「オフ」症状や、薬を飲むと体がくねくねして困る「ジスキネジア」で困っている場合、電気で脳を刺激する脳深部刺激療法(DBS)、皮下や腸にポンプで薬を流し続ける持続注入療法などのデバイス治療で大きく改善できることがあります。患者さん、ご家族対象の無料説明会をオンラインで開催します。お気軽にご参加ください。

※患者さん向け説明会です

日時：

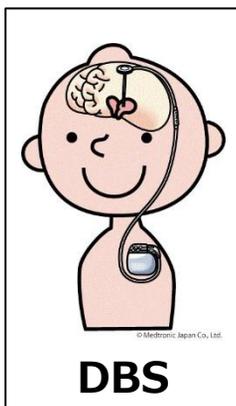
8月21日(月) 16時開始

8月23日(水) 16時開始

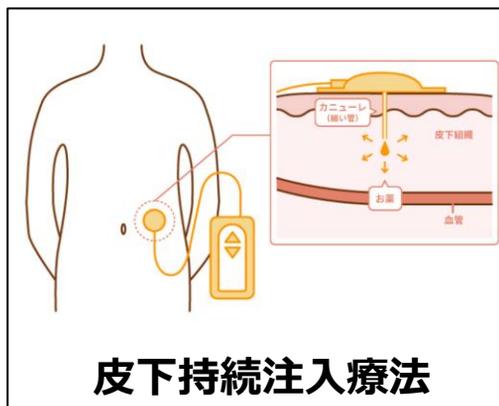
9月25日(月) 16時開始

9月27日(水) 16時開始

(内容は同じです)



DBS



皮下持続注入療法

事前予約制、Zoom配信

説明40分の後に個別に質疑応答の時間を10分間設けます

定員：各回2～3組（先着順、定員になり次第締め切り）

担当医師：愛知医科大学病院 パーキンソン病総合治療センター

齋木 英資、名倉 崇弘、田口 宗太郎

QRコードからお申込みください

事前登録後にご登録のメールアドレスにURLをお送りいたします

参加無料・紹介状不要

ご家族のみのご参加でも大丈夫です
パーキンソン病の薬の回数が5回以上
パーキンソン病の薬の種類が4種類以上
動きが悪い時間が1日合計2時間以上
などでお困りではありませんか？



愛知医科大学病院
パーキンソン病総合治療センター
eメール：
141592653589793pd@gmail.com